



愛知県板金工業組合
発行広報委員会
名古屋市中区和北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

厚生委員会開催

福利厚生の実を！

去る、二月二十日県板三F

に於いて第三回目の委員会を開催した。出席者十四名・欠席一名により審議にはいった。先ず県板共済の中途加入者の経過報告を踏まえ、未手続き事業所が九件あり、早急な対応が求められよう、結果として手続き完了事業所は二八件となり、加入促進の結果として三七事業所となった。更に希望としては組合を構成する、各々の委員会に所属している、委員の未加入者が二四名も存在し、これらの方々にも積極的に率先して、加入勧奨に協力を願いたい、未だに組合員の中で四百五十人の未加入者が存在し、委員一同が説得に余念がない状況にあり、尚一層のご理解を賜りたい。

☆審議事項

一、共済保険への更なる加入勧奨の推進活動を促す。

今後の努力目標五〇〇六〇%の組合員の加入が必要、六〇%にするには一四〇事業所の加入が必要となる。現在の加入率は四二%となっているため、総べての組合員が一口を限度として、更なる加入勧奨を推進し、平等の立場で負担を分かち合う理念から、委員に再び委嘱し、対策を講じる案を可決し活動を開始した。

二、全国板金業国民年金基金への加入勧奨を促す。

現在、日本では総べての国民が老後の為に、職業によって異なるが、何らかの年金制度に強制加入となっており、板金業（自営業の家族或いは従業員とその家族）に於いては国民年金に加入が義務付けとなっている。（但し法人組織は別扱いとなる）原則として加入は二十歳から六十歳未満までが対象となり、六五歳

から受給資格が得られる仕組みになっている。これらを第一号被保険者と称す、四十年掛けると老齢基礎年金として、月額約六万七千円が一人に支給される事となる、夫婦合せても十三万四千円となるも、現代の物価指数から試算すると、月額必要となる金額は二十七万円と言われているが、それらの差額を補うための制度、即ち全国板金業国民年金基金と称されており、県板厚生委員会としては、年金の上乗せとしてお勧めしているもので、国が責任をもって運営している制度だけに、安心して加入出来る制度で、老後のゆとりある生活を営む関係上、大切な資金である事は言うまでもない。掛金は組み合わせ式で、好みによって自由に選択ができ、大変有利なものである。トライしてみては！

☆詳細は、県板事務所
☎052-732-1226番へ
又は全国板金業国民年金基金
☎フリーダイヤルは、
0120-34-1165番へ

さて、将来に向かって老後のゆとりある設計にと、全板国民年金事務局の指示により厚生委員会では、再び基金の加入勧奨を推進したいと、活動を始めることとなり、本日よりのDM送付の準備として、厚生委員により加入者の推薦

を頂く事となり、案件は可決され直ちにスタートした。その際はご支援ご協力の程を、

で 宜しくお願い致したくお知らせ。先ずは委員会報告まで 沼澤

保証委員会報告

14年度第3回の保証委員会
が3月11日午後3時より県板
会議室にて開かれ8名の委員
が出席した。

大友委員長と斎藤副理事長
が挨拶した後議事に入り、次
の議題について話し合われ
た。

(1)平成14年度保証制度「再講習会」の反省について

13年度に続き、14年度にも
再講習会を1回開催したが、
わずか21名の受講であった。
400事業所が保証制度のカンパ
ンを持っている割には受講者
が少なかった。未受講者は自
主検査が出来ない事になって
いるので注意してほしい。

(2)平成15年度の事業計画につ
いて

(3)保証申請の推進について
申請事業所数はまだ少なく
組合役員及び委員は率先して
申請してもらい、支部の会合
の際には組合員に申請を強く
依頼する。

◇15年度において保証制度の
資格取得の為の講習会を次
の様に予定する。

実施日 9月27・28日
場 所 岡崎技術工学院
◇業系サイディング施工講
習について要望が多ければ
実施を検討する。

◇保証ステッカー（車用）の
作成を次回の委員会で検討
する。

募集

2005年に開催される全板愛知大会（全国建築
板金業者愛知大会）のキャッチフレーズとなる

「テーマ」と「ロゴマーク」を募集

（テーマは、建築板金業に関係を持たせ地球環境に
活かせるものが良い。）

応募締切：平成15年5月31日

応募先：愛知県板金工業組合 事務局

FAX 052-732-1733

* 優秀作品には賞品を差し上げます

（参考）愛知万博のテーマとロゴマーク

愛・地球博



一宮支部総会

3月16日9時30分より、14年度の一宮支部通常総会が一宮市内の一宮勤労福祉会館で行われた。

当日の出席者は26名で委任状が12通であった。小森但氏の司会で進行され、まず服部県板理事が開会の辞を述べ、次いで渡辺支部長が挨拶をした。

湯浅伸明氏が議長に選出され議事に入った。14年度事業報告及び会計報告がされ、伊藤順一氏から監査報告があり、

この議題は承認された。

15年度事業計画案も承認された。15年度予算案については、県板賦課金が三百円値上げとなった事もあり、審議の結果、経費の節約と削減、繰越金などで賄い、一宮支部の組合費は値上げを行わないことになった。

役員報告については、技能・技術研究・保証・全板大会実行の各委員から報告があった。来賓として村上県板理事長が出席され、全板会館建設員

担当と05全板愛知大会について現在までの状況を説明された。

総会の休憩時間を利用して県板事業の一つとして行っている高速道路の別納カードの説明が担当者からあった。

2時間半にわたる総会であったが予定通り終了した。12時30分から懇親会にうつり、その席には愛知県板金総合職業訓練協会の羽柴会長と井藤副会長が出席され、当協会に対する協力と訓練生の募集についての要請があった。その後は酒と料理と、ざわめきの宴席が続いた。

一宮 佐藤

知多支部定期総会

「新役員誕生を御期待」



新役員一同



懇親会風景

小春日和に恵まれた、去る三月二十一日(金)、東海市勤労センターにて平成十四年度知多支部定期総会を盛大に開催する事ができた。

ご来賓として県板からは村上理事・職業訓練協会から長谷川、恩田両副会長・更に商社・メーカーに加え、多くの組合員の出席を頂いた。

先ずは、神谷恒男氏の司会で開会され、蟹江重光支部長の挨拶の中で、曰く・最近の市場は新築工事より、リフォームの物件が多く、仕事の量と幅を増やすため、板金業界を世間にPRを充実させ、知名度のアップが必要となり、組

合が勧める責任施行保証制度を積極的に活用し、信頼を獲得する事が生き残る手段ではなからうかとの談。引き続いて議案審議に入り、議長には後藤啓介氏を選出し慎重な審議がなされ、今回は役員改選の期にて、選考委員により新役員の選出を諮り、更に上程された案もすべて可決承認された。

◎新役員は次の通り

支部長 二村圭亮
副支部長 竹内廣幸
理事 浦野利一
理事 神谷恒男
理事 柴田勝治

以上七人の方々が選出され、新たにスタートした。

新支部長の二村圭亮氏が新役員を代表して挨拶をされ、諸先輩の築いたレールを脱線させる事なく、支部発展のために努力する覚悟で取組むとの抱負を語られた。乞御期待。引き続き、県板事業報告、青年部活動報告などがあり、最後に献血活動の報告と、優受彰者は一人で蟹江将人氏に感謝状が贈呈された。

豊田支部青年部 第23回総会

豊田支部青年部(中根圭介部長)は、さる3月21日(金)市

内の料亭「藤美」に於いて第23回の通常総会を開催した。

当日は部員23名中20名が出席、また来賓として西俣西三板金連合会長、親支部より赤池支部長・福田・松井の両副支部長、会計松井繁氏、横山興業(株)様より松本収氏の6名が出席された。

部長挨拶、来賓挨拶の後、西俣友雄氏を議長に選出し、議案審議はスムーズに行われた。本年は役員改選の年ではないので前年同様、部長中根圭介氏・副部長鈴木昭人氏・会計伊藤武氏です。



また、今回一名の新入部員(柳杉本板金さんの従業員佐藤一章君)が紹介された。今回は総会の前に笹戸カントリでゴルフを二組で楽しんだ。

また、平成15年度の事業計画でパソコンの勉強会を4月より土曜日の夜に定期的に行うことが発表された。

総会終了後、懇親会が開催され楽しい一時をすごした。

豊田 松井

春うらら

「旅ごころ・遊びごころ」

「旅は時間とお金のむだ使い」と言う輩がいる。

旅好きからすれば、何を言われようと人に迷惑を掛けて居るわけでもないから構った事では無いが、よくよく考えて見ればお金持ちの日本国民、趣味・道楽・娯楽の幅も広がり、経済大不況の中でも、ゴルフに釣り・パチンコ・囲碁にマージャン・グルメと熱心である。ボランティア活動や家庭菜園に精を出すならともかく、旅が無駄使いと言う事になるとゴルフもパチンコもすべて時間とお金の無駄使いとなるでは無いかと春霞と共に半ボケ頭で思うのである。いずれにしても「旅心・遊び心」は日々の心身の糧でありリフレッシュにもなるのだから余り堅い事を言わ

ず大いに楽しみたいものだ。

早々から脱線してしまったが、一昨年から昨年秋にかけて約一年間にニュージーランドと中国へ三回出掛けた。今年も旅仲間達（同業者）と本場のチューリップと風車の風景を見に行こうとオランダツアーを計画していたところ心配していたイラク紛争が始まって一時棚上げとなつてしまった。

南半球にあるニュージーランドの十一月は春の花の季節。南島のクライストチャーチはニュージーランド第三の都市。市内の一般家庭は見事にガーデニングされ庭園や公園は春の花が咲き競い、ゆったり流れる小川には水鳥が泳ぎ、ボート遊びではしゃぐ子供達の歓声が響いて、落ち着いた街は平和

和そのものである。

次は世界遺産指定のマウン・トクック国立公園。この日最高の快晴に恵まれヘリコプターでタスマン氷河を眺めながら国内最高峰三六五四メートルのマウン・トクック峰へ遊覧飛行。約十分くらいで頂上直下の雪原に着陸。素晴らしい白銀の世界に浸り周辺を歩き回る。

翌日はサザンアルプスの山々に囲まれた湖畔のリゾート地クインズタウンに移動。ワカティブ湖畔の風光明媚な町で夏の避暑地では人気抜群とか。特に秋が深まるとボブラ並木の黄葉と澄んだ青空が際立った美しさを現る。クインズタウンはバンジージャンプ発祥の地。水面まで五〇メートルの橋の上から足にロープを付けて飛び下りる様は見ている方がぞくぞくしてくる。

我々一行はホテル前の棧橋からジェットボートの体験乗船

を試みた。川の兩岸が切り立つ深谷を時速八〇kmのスピードで疾走。まるで水の上を飛んで行く感じ。おまけに突然スピンを繰り返して走りまわ

始めはビックリ仰天、顔は引きつり涙に鼻水は流れっぱなし。それでもだんだんスピードになれて来てスピンが凄く面白かった。スリル満点大成功。

翌日、世界遺産で国内唯一の観光名所のミルフォードサウンドでは湾内を巡る観光船の船上からダイナミックな大自然の景観に魅了された。

南島の観光を終え北島のロトルアに移動して、先住民マオリ族の伝統的なマオリ文化に触れる。夕食にはハンギ料理（肉や野菜を蒸した料理）を味わいながらマオリ族に伝わる歌や踊りが見られる。

ニュージーランドは日本と同じ火山国である。中でもロトルアは大地熱帯が広がりに地上

三〇分近くまで熱湯を噴き上げる間欠泉は凄まじい迫力である。

またホテルの近くに天然温泉の浴場があり早速皆で露天風呂を楽しんだ。海外旅行で温泉に入れたのは初めての体験であったが、温泉好きの私は翌朝も出掛けた。大きな温泉プールや間仕切りをした温度の違う浴槽が並び底からブクブクと沸き出して来る。深い浴槽に首までつかりながら地元の人たちと手振り身振りで裸の交歓会は楽しいひとときであった。この街も住んで見た

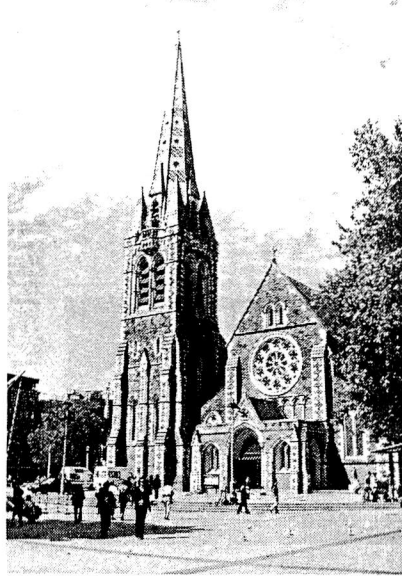
い街の一つになった。

人間よりひつじの方が多いいこの国の名産は羊毛製品だが、隠れた名産にハチミツがある。バスで移動中にも蜜蜂の巣箱が至る所に見られる。先日、日経新聞にも掲載されていたが、小さな白いマスカの花から採れる蜂蜜が成分的にも最高だと現地ガイドが教えてくれ

た。ドライブイン・土産品店・スーパーなど何処にでも並んでいるが一番安かったスーパーで五種類の蜂蜜とローヤゼリーとプロポリスを買って帰る。

蜂ミツが大好き人間の私は、国内でも海外でも蜂ミツを見るとつい手が出してしまう。ところで私は海外に出掛ける時、行先の伝統文化、食文化に触れたいこだわりがあるから、日本食は何一つ持って行かない。お土産にしても自宅用は化粧箱の物ではなく袋物のお菓子やつまみ類など、その土地独特の物をドライブインやスーパーで出来るだけ品数多く買ってくる事にしている。うまいかうまくないかは食べてみないと分からないが、旅先のことを思い出しながら一袋ずつ開けるのもまたあととく旅ごころである。

日本から約九千キロ、南太平洋の国ニュージーランド。美味しかった牧場レストランの厚切りステーキとアイスクリーム、洞窟内の暗闇の中で神秘的に光る不思議な発光虫「ツチボタル」。澄み切った青空のもとで牧草を食む羊の群れ。愉快だった羊の毛刈りショー。アルプス、フィヨルド、湖、温泉、そして花花「地球の箱庭」と言われる大自然が織り成す自然景観に魅了された八日間の旅はアツという間に終わってしまった。



▶クライストチャーチのシンボル・大聖堂



▶ロトルアの露天風呂



▶マウン・トクック峰
頂上直下の雪原にて



▶はしゃぐ遠足の子供達

津島支部

第22回ゴルフ大会開催

三月五日、津島支部ゴルフ大会が三重の鈴峰カントリークラブに於いて開催された。山間部では、前日から雪が積もり、予定されていたゴルフ場がクローズとなったため、慌てて今回のゴルフ場に連絡をいれ、今大会が行われた。今回も問屋の(株)カネブンの専務に参加いただき、寒い中ゴルフ愛好家十名が参加し、楽しい一日を過ごした。

優勝 早川 満さん

津島 猪飼

第22回山善会開催

三月二十六日(木)午後二時より名古屋クラウンホテルに於いて山善会総会が開催された。

山善会会長の斎藤充昭氏が挨拶され、続いて平成十四年会計報告、賛助会員自己紹介及びワンポイントPR、賛助会員を代表し、タニタハウジングウェア主任の渡辺和彦氏が挨拶された。

賛助会員紹介

野水鉄興(株)、(株)カネキ・ナカオ、(株)オーテイス、東洋化学(株)、日鉄鋼板(株)、山田鉄商(株)、(株)タニタハウジングウェア、以上。続いて役員が紹介され、総会を終えた。

第2部として、日鉄鋼板(株)



▲ スタート前に記念撮影



▶ 総会風景

の西久保博明氏と川村明夫氏により、簡単な実験などをまじえながら自社商品の説明等を行った。

続いて山善会の名物である山善社長山田将貴氏により、インターネットをまじえながら講演が行われた。終了後、場を移し、懇親パーティーへ。会場では、山善社長の愛娘が参加するグループ(ブライナス)が曲を披露し、場を盛り上げてくれた。円卓を囲みながら、皆楽しい一時を過ごした。

津島 猪飼

3月各支部の動き

中村支部

18日 定例総会

・役員改選他

昭和支部

7日 通常支部会

・全板連新板金会館建設負担金について

・県板賦課金値上げについて

・支部費値上げの件

瑞穂支部

1日 定例会

・支部総会の件

・共済保険の加入促進

16・17日 支部総会 13名

(山代温泉)

熱田南支部

20日 定例会

7名

緑支部

26日 集会

・健康保険更新の件

尾張板金連合会

9日 通常総会

40名

・役員改選・他

瀬戸支部

8日 定例会

8名

・高速別納システムの件

春日井支部

8日 月例会

13名

・県板賦課金の件・他

津島支部

5日 定例会

13名

・支部旅行について

5日 第3回ゴルフ大会

鈴峰CC 10名

大井支部

15日 例会

10名

江南支部

15日 新旧役員引継会7名

岩倉支部

12日 月例会

・新支部役員の件

・尾張連合会総会の内容

西三板金連合会

23日 三役会

8名

・第1回役員会準備

・15年度事業計画案

岡崎支部

8日 青年部新旧役員引継

会

・15年度の活動について

18日 新旧役員引継会

・役員人事

・名簿の発行について

・50周年事業について他

29日 青年部歴代部長会

・新役員の発表他

碧南支部

1日 青年部総会及び新年

会

19日 役員会

18名

・理事会報告他

26日 三役事務引継会6名

豊田支部

8日 第11回役員・班長会

17名

・第47回総会について

10日 4役会

8名

・健康診断(豊田健康

管理クリニック)

21日 青年部親睦ゴルフコ

ンペ

8名

21日 青年部第23回総会

24名

安城支部

29日 第47回通常総会

15名

19日 総会

・役員改選他

西尾支部

18日 役員会

19名

・共同購入の申込

・技能検定受験について

・保証制度講習について

知多支部

8日 青年部役員会

6名

14日 青年部総会

18名

18日 第4回役員会

28名

通常総会

80名

東三支部

4日 定例会

30名

・14年度通常総会の件

19日 新旧役員引継会57名

5名

23日 会計監査

6名

25日 三役会

15名

29日 青年部総会

12名

30日 新旧三役引継会

12名

県板青年部

30日 第6回幹事会

・全国建築板金競技大会

の報告

・第24回通常総会につい

て

編集後記

あらかたの支部で総会が開かれた。今年は役員改選があり、新しい役員が決まった支部が多い。

ある支部長が言った。「役はボランティアだと思わにややっとなん」(三河弁)

なるほど、そうかも知れない。しかし、ボランティアは自ら進んでその道に入るが、役職は自ら受ける事はほとんどなく、皆から推されて、しかたなく引き受けている。

役を受けた後、ボランティアと思って、職務を責任もってきちんとこなす人と、自分の都合を優先し、責任を十分はたさない人がいる。

前者の多くの人が、役が終わった後で、役をやらせてもらって良かった、と言っている。仕事や家族を多少犠牲にしたものの、金銭では買えない何かを得たからではないだろうか。

今回決まった役員さんの任期が過ぎるとすぐに05全板愛知大会がある。その成否は次期の役員さんの肩にかかっている。

三月二十七日(木) 曇後雨
三八一 編集委員会
広報委員 8名出席
午後五時半終了 高橋